

まちのわだい

ゴルフの楽しさをプロから学ぶ ～スナッグゴルフ交流会～

7月27日、大山ゴルフクラブで八郷小学校と岸本小学校の児童10人とプロゴルファーによるスナッグゴルフ交流会が開かれました。

この交流会は、「地域社会における次世代の子どもたちへ眼差しを向けて」というテーマで、子どもたちにゴルフの素晴らしさや楽しさを伝える目的で、社団法人日本ゴルフツアー機構が開催しました。

スナッグゴルフは、プラスチック製の軽量なクラブと柔らかいボールを使う初心者向けのゴルフで、児童たちは、大槻友春プロと山形陵馬プロの二人から指導を受けながら、的当てゲームに挑戦しました。時間をかけて狙いを定めるものの、なかなかまっすぐに飛ばすことができない児童に比べ、プロゴルファーは、的の中心への確に命中させるさすがの技術を披露していました。



プロからコツを教わる児童

省エネ・節電で 暮らしを見直そう

～くらしの消費生活講座～

7月25日、岸本公民館で第1回くらしの消費生活講座が開催され、19人が参加しました。

この講座は、消費者被害の未然防止と消費者の自立を促進することを目的として、年4回開催されます。

第1回は、中国電力鳥取支社の中村美雄さんと岸野仁さんを講師に迎え、中国電力管内の電気使用の状況や節電についてのお話がありました。受講者からは「発電所のことなど、初めて知ったことが多かった」「これからは、今まで以上に節電に努めたい」などの感想が寄せられ、節電に対する意識を高める講座となりました。



熱心に講義を聴く参加者

日野川の自然に触れる ～きしもと鮎友釣り大会～

～きしもと鮎友釣り大会～

第19回きしもと鮎友釣り大会が、7月29日、伯耆町役場裏の日野川土手で開催されました。

この大会は、鮎釣りをとおして自然を感じ、日野川を大切にしておらうと、日野川水系漁業協同組合岸本支部が毎年開催しています。

今大会は地元をはじめ、島根県や岡山県から48名が参加し、予選と決勝の2回、制限時間内に釣り上げた鮎の数を競いました。この日の日野川は、水位が少し低いものの、鮎釣りには適しているということで、よいコンディションとなりました。参加者は竿先や手元に神経を集中させ、鮎を釣り上げていました。

優勝は、決勝で10匹の鮎を釣り上げた倉吉市の黒川英明さんで、惜しくも優勝は逃したものの、9匹釣った伯耆町の小林英雄さんが準優勝となりました。



鮎を釣り上げる参加者

夜空に開く大輪の花火

～フェスティバル・ディア・マスミズ～

毎年恒例の夏祭り、フェスティバル・ディア・マスミズが、7月28日、樹水高原で開催されました。

雲の多い空模様の中開催された今年のフェスティバルでは、ダンスパフォーマンスを皮切りに、初めての開催となる第1回美少女浴衣コンテスト、ミニライブ、盆踊りに



荘盆踊り同好会のみなさん

続いて、約2,000発の花火大会が開催されました。盆踊りでは、大阪府羽曳野市からツアーで来町した40人が盆踊りに参加し、河内音頭を踊りました。そして、祭りのフィナーレ花火大会では、先着

100名が樹水天空リフトを利用して展望台まで上がり、夜景をバックに花火を楽しみました。



天空リフト展望台から眺める花火

和牛オリンピックピック出場決定

～全国和牛能力共進会鳥取県予選会～

5年に1度開かれる全国和牛能力共進会、通称、和牛のオリンピックへ向けて、8月3日に鳥取県の代表牛を決める審査会が開かれ、伯耆町産和牛の出場が決定しました。

琴浦町にある鳥取県中央家畜市場で開かれた審査会には、町内5軒の農家から15頭の和牛が出場しました。9つの部門に分かれて審査が行われ、鳥取県畜産試験場の職員らによる審査員が、肉付きの良さや毛並みの美しさなど、多くのチェック項目について厳しく審査しました。今年10月長崎県で開催される全国和牛能力共進会で好成績を残せば、ブランド牛の産地として、全国へのPR効果が期待できることから、これまで県内の農家が一丸となって品質の良い和牛の育成に努めてきました。こ

この日の審査では、血統につながるの牛を審査する部門で伯耆町の和牛が優勝し、全国和牛能力共進会への出場が決定しました。



代表に選ばれた伯耆町産和牛

新成人を祝う

～伯耆町成人式～

平成24年度伯耆町成人式が8月15日、鬼の館で開催され、103人の新成人が参加しました。

今年の新成人は、平成4年4月2日から平成5年4月1日生まれで、伯耆町では131人が該当します。式典では始めに、町長のあいさつや記念品の贈呈が行われた後、新成人を代表して長武奈緒子さんが、「いかなる苦難であっても自分の力で乗り越えてこそ、本当の成人です。今日の喜びと成人としての責任を忘れず、伯耆町の発展の力になりたいと思います。」と決意を語りました。



講演に聞き入る新成人たち

式典終了後、鳥取県図書館協会会長、海外シニアボランティアの山田晋さんを招き、二十歳は節目という演題で記念講演が開催されました。

終了後会場では、旧友や恩師との再会を喜ぶ新成人の姿も見られ、それぞれの近況や学生時代の思い出話に花が咲き、和やかな雰囲気にも包まれていました。

